しあわせ

号 月

阿弥陀仏の御名をきき 歓喜讃仰せしむれば 功徳の宝を具足して

2020年4月

(『浄土和讃』

念大利無上なり

るならば、 らしめる、 阿弥陀仏の御名を聞き、よろこび讃えていたた その人は功徳の宝を得たのです。 無上の利益をいただいたのです。 わずか一声まで仏のさとりに至

「手を合わす母」 に関心が奪われてか、

ていない に目覚めよとの御教化である。 お釈迦様のこの宣言は、私たちに自分の命の尊さ 天上天下唯我独尊、 天にも地にも我独り尊し

尊い」とは、 るであろうか? あろう。まして他者の命を拝めている人がどれだけ 分の命の尊さを知り、 「さるべき業縁のもよほさば、 仏法は、目覚めをうながす教えである。 誰もが口にする言葉である。 喜べている人がどれだけいるで いかなるふるまい しかし 「人の 自

自身の危うさを語る人はいない。 必ず救うと。 、し」命の尊さは誰もが語る言葉ではあっても、 この危うい私に阿弥陀さまの願いがかけられている 自分

お祝いするおまつり。 は 『花まつり』。 お釈迦さまのお誕生を

ちょうど新年度の始まりであり、

花まつりは大きな行事になっ

入学や入社など

法 座

案

広島聞熏会

講師 内藤 四月六日 昭文師 午後二時 (本願寺派司教)

仏弟子に学ぶ (会費一〇〇〇円)

春季永代経法要

十八日 昼席・

四月十七日

講師 福間 義朝師

(大和町 教専寺住職)

法味の会 四月二十四日 ーご和讃の味わ 午前一〇時~ 1

府中町山田|丁目二|五十三 龍仙寺

栢原山

電話(〇八二)二八一四八二

(意訳)

すな

【ご和讃をよむ②】

(る

こび、 わち、 この人は大いなる利益を得たのである。 阿弥陀仏の御名を聞いて、 経文には、次のように説かれてい づうぶん)という結びにあたるお経文のここ 和らげ讃えられたものです。 わずか一声でも念仏しているならば、 無上の功徳を得たのである。 身にも心にもよろ の流通分 、ます。 もとのお

宝を具足していうことですね。 というも、一声の念仏にまさる利益はないと・・10~ ん、仏の悟り たちが日 無上とは 具わって 「々追い いると、 この 一声まで、 これはどうい というも、 いうも、智慧というも、慈悲求める世間的な利益はもちろ 一念大利无上なり」と讃えらいちねんだいりむじょう。そこを親鸞さまは「功徳の お釈迦さまは仰る がない」ことですから、 お念仏には無上 うい わ れでしょうか 一の利益が のですね

2020年4月

「ご主人のお写真、 ながらお婆ちゃんとお話をしていたところ をおつとめしました。あとでお茶をいただき ご主人の遺影なのですが、 かで、ふと床の間の写真が目にとまりました。 いその笑顔にほっこりさせられつつ、正信偈 昨年の秋頃のことですが、報恩講参りのな いい笑顔ですね」 なんともあたたか

そのことを教えていただきました。 微笑ませてくださるぬくもりは、届 まわりに孫たちがおるんですよ。 んたちが見えました。たとえ苦難の人生でも、 に孫らが遊びにきてくれて囲まれとるんで いませんが、ご主人の笑顔のまわりにお孫さ ながら教えてくださるお婆ちゃんのお話 つもはこんな笑っとらんのですから この写真ですか。じつはこの写真、 いると、 ご遺影には姿こそ映っ ひさしぶ いて ては n

なしさし 自分のなかを見つめると、不安や孤 か出てこないけれど、 自分が遇わせ

遇いが けれど、 しゴム ならな てくださる出遇いがあるとおもうの 今日という日 も万感の 人生は、 があったら消 ったも かな日 あの人に遇わせていただいたわたし あるのではないでしょうか。ままに 思 しあわせでした…。そのように、 いでい 々 は、 々として、い れど、 ゆたかな一日でした…。 のちが満ちる。そういう出 して回 心いを向 りたい生きざまだ の言葉を聞きえた けるならば、 のちを意味づ です

2020年4月

宝の山に入りて

わ うな生き方をしてはならない、 宝の山に入っておりながら、手ぶらで帰るよ きることは、わたしの思い通りにはならない。 と源信僧都の it が立ち 手をむなしくして帰ることなかれ 梯實圓和上は「いのちに対して申し ませんなあ」と仰 いのちは宝の山である。 『往生要集』にはあります。 9 と言われる て せっかく まし た。 0)

(3)

弥陀さまの名のりでした。だからこそ、 そのような、い とえ金銀財宝にかこまれていても、その人は、 言える人生ならば、たとえどんな苦難の人生 の意味をはっきりと答えられないならば、 のちへの責任を果たしていない っても、決してむなしくはないでしょう。 のこそが、 であると讃 遇うべきものに遇わせていただいたと めに生まれてきた わずか一声までも、お念仏は無上 まことの宝であり、 のちの意味を満たしてくださ えられ のか たのです 自 .のです。 分の それが阿 いの

徳の宝を具足して 一念大利无上な

み親 たとえこの身はむなしくとも、阿弥陀さまが ませてくださるぬくも たとえ思い 0 名のり ます ともに 通りにならな 11 お念仏 のちの意味を満たしてく りは、 14 い人生でも、 ただきまし 7 V 、ます。 ょう